

# 各会派による政務調査報告

## 赤ちゃんふれあい交流事業

会派 公明党、民主党

伊新の会

視察地 新潟県燕市

視察日 9月28日、29日

赤ちゃんふれあい事業導入の経緯について。

居場所を求める中高生が下校途中遊びに来、その高校生が赤ちゃんを抱



燕市役所にて

っこした時の光景が心に残り、それが交流会を開くきっかけになった。このことが将来育児不安や児童虐待の予防につながり、しいては保護者の育児不安軽減に繋がると考えられた。

つこした時の光景が心に残り、それが交流会を開くきっかけになった。このことが将来育児不安や児童虐待の予防につながり、しいては保護者の育児不安軽減に繋がると考えられた。



児童研修館「こどもの森」にて

び参加者について。

燕地区更生保護女性会・保育士・保健士・短大講師・児童館職員。参加者の募集は、各種学校を訪問し、事業の目的を伝え協力を要請。赤ちゃんについては、子育て支援センターに協力依頼。また委員会の口コミや児童館近隣の親子に声をかけ参加者を募集。事業の成果は、生徒と保護者にとって、楽しい時間となった。学校の授業に取り入れた教育課程での位置づけについて。

中学校では、道徳の授業として取り入れる。高校では、家庭科の「保育」の授業に参画。児童・生徒が「命の大切さ」を実感する取り組みです。

中学校では、道徳の授業として取り入れる。高校では、家庭科の「保育」の授業に参画。児童・生徒が「命の大切さ」を実感する取り組みです。

## 「まちづくり出前講座」を調査

会派 新政21、みらい研伊奈

視察地 静岡県南伊豆町

視察日 11月4日、5日

訪問した町は、伊豆半島の最南端、北東は下田市、東西は松崎町に接し、天城山脈より連なる山地を背に、南・西が太平洋に開けた風光明媚な景勝地でした。

人口9千700人余、職員120人の町です。平成18年に行政改革の一環として、「南伊豆町まちづくり出前講座」を設立。その目的は行政と住民の相互理解を深め、積極的な情報提供と情報公開の推進により、情報の共有化を図り、協働のまちづくりを目指す、としています。

人口9千700人余、職員120人の町です。平成18年に行政改革の一環として、「南伊豆町まちづくり出前講座」を設立。その目的は行政と住民の相互理解を深め、積極的な情報提供と情報公開の推進により、情報の共有化を図り、協働のまちづくりを目指す、としています。



静岡県南伊豆町にて

意見交換の場となり、公聴の場として活用できるそうです。

具体的には、実施要綱により、予め用意されたメニュー（町の台所事情、行政改革って何？等19項目）の中から原則10人以上の団体やサークル等の団体が町へ申請します。

職員が出かけて、約2時間程度で講座や意見交換をする仕組み。昨年度は23回も職員が出かけています。7回も実施した団体もいる。小中学校も受講している、なかなかユニークな取り組みで、参考になりました。

職員が出かけて、約2時間程度で講座や意見交換をする仕組み。昨年度は23回も職員が出かけています。7回も実施した団体もいる。小中学校も受講している、なかなかユニークな取り組みで、参考になりました。

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各会派で他の自治体の取り組み実態を視察調査したり、様々な研修を行うなど研鑽に努めています。